

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターすてっぴあいる				公表日	R8年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で過ごすことが辛くなった時（音過敏等）は別の部屋で対応するなど臨機応変に変化をすることができるよう工夫されている。 ・時間によっては子どもの人数が多くなる為、他の部屋を使用するよう工夫している。 ・利用者の状況に応じて部屋を分ける等、スペースを確保している。 	今後も、スペースを上手く活用して参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日によって個別対応が必要な子どもが居る場合、職員の数がもう少し必要かと思う。 ・極まれにどうしても助けて欲しい時は声掛けを行い、応援を呼び協力できている。 ・利用者の人数に応じて職員の配置を共有している。 ・個別対応の人数が多い場合の人数調整は必要かと思われる。 	その日の子どもの人数などに合わせて基準以上の職員を配置しています。今後も利用人数や状況に加え、活動内容に応じて配置をして参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じて部屋の写真を絵カードにしたりして理解しやすく行動しやすくしている。 ・ホワイトボードで1日の流れや子ども達の使用する物には全て名前と動物などのマークをつけて分かりやすくしている。 ・活動により部屋がかわるのでわかりやすいと感じている。 	引き続き、子どもの特性に応じた環境的配慮と分かりやすい構造化を行って参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除で清潔に保たれている。また、毎週末は学習用品や玩具は必ずアルコール消毒をしている。 ・パーテーションが適切な数用意され、一人ひとりが安心できるスペースを作ることができている。 ・危険のないよう環境設定している。 ・毎日清掃を行い、心地よく過ごせる環境作りをしている。 ・パーテーションを使用し、玩具ごとに仕切り、落ち着いて過ごせるようにしている。 ・その時々で机や玩具の場所を変えたりして活動に合う様になっている。 	快適に過ごして貰えるように、今後も環境整備を行って参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・個で対応する時は、個別の部屋を使い、子どもが落ち着いているようにしている。 ・使用していない部屋等に移動している。 ・個別の対応ができる部屋があり、利用者の状態に合わせて柔軟に対応している。 ・静養室や使用していない部屋を使用できる様になっている。 ・パーテーション利用により、スタッフの増減がある場合、補助が必要かと思う。 	今後も、状況に合わせた環境整備に努めて参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回クラス会議を行っている。また、課題がある場合、職員間共有話し合いを行っている。 ・当日スタッフが朝の参加の流れや配慮する点の周知をしている。 	PDCAを用い、業務改善に繋げられるよう努めて参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			評価表の内容を確認し、申し送りにて常勤職員へ周知と、改善案の話し合いを行っています。また、常勤からパートへの周知を図り改善に努めています。保護者の意見に今後も真摯に向き合って業務改善に努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回クラス会議を行い、意見交換をしている。 ・情報共有ツール内での情報、意見の発信があるものの業務内での発信、確認は難しい。 ・定期的にクラス会議を行う事で、情報交換、統一した支援が出来る為、良いと感じる。 	今後も職員の声を聴き、業務改善に繋げていけるよう努めて参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			内部評価は常に行っており、業務改善に意識をもって繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有ツール内での情報、意見の発信があるものの業務中の確認時間がないと思われる。 ・機会はあるが足りないように感じる。 	事業所内の研修の機会が少ないため、全体に対しての事業所内研修を充実させていく事と研修時間の確保が課題です。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況を把握し、支援プログラムを作成している。 ・更新の度、情報共有ツールにアップされていていつでも確認できる。 	法人HPにて公表しています。

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14		保護者と面談の機会を設け、ニーズや思いを聞き、課題を分析した上で計画を作成している。	今後も、適切なアセスメントとニーズの把握を行い、支援計画作成に努めて参ります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14			担当者会議に現場職員も参加し検討をしています。支援方針を共通理解できるように努めています。引き続き、最善の利益を考慮した検討を行うよう努めて参ります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15		・支援計画は職員が各々で確認し、共有理解の下、業務に当たっている。	支援計画を現場職員も閲覧出来る環境を作っています。また、現場職員のリーダーから申し送りにて周知を図り、計画に沿った支援が行われるようにしています。引き続き情報共有と、計画に沿った支援が行えるよう努めて参ります。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		発達検査などの結果を踏まえながら、日常の行動を観察したり保護者からの聞き取りを行い確認している。	事業所で標準化したアセスメントシートを作成し使用しています。また、園やセンターでの様子も保育所等訪問との連携により情報共有を行っています。今後も、アセスメントシートの活用と行動観察を行い、支援に繋げていきます。	
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具	15		情報共有ツールに上げて下さるようになり、確認をする事が常にならなくなった点はとても良いと感じている。利用者による変更する事で個別の援助を行っている。	「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の狙いを踏ま具体的な支援内容を設定しています。今後もガイドラインの再度周知を図り、意識して支援して参ります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1		職員にて年間計画を作成しています。年間計画を基に毎月の活動をスタッフ間で話し合い毎月内容を検討して計画を進めています。今後もチームでプログラムの立案、計画を進めて参ります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		毎月設定が変わり、段階を踏まえられており、リーダーより説明がある為わかりやすい。 ・主活動のプログラムは毎月違うものが設定されている。	毎月活動を変え、子ども達が意欲的に参加できる様に工夫しています。今後も次の展開を考え、活動内容を増やしていけるよう努めて参ります。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13			定期的なモニタリングを基に日々の活動から個別・集団の課題を抽出し、支援計画を作成しています。今後も子どもの状況を把握し、計画の作成と支援を出来るよう努めて参ります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		クラスリーダーより注意すべき点と申し送りあり。声を掛け合い業務遂行できている。 ・利用者の状況を支援開始前に職員間で確認し、役割分担などの話し合いを行っている。 ・朝、確認するようにしているが、日によって人手が足りない等の時、確認が難しい時もある。	今後も指示書を使用しながら、役割分担を明確にし、連携を図って取り組んで参ります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		毎日申し送りを行っている。 勤務時間がバラバラなこともあり、振り返りは難しいことが多い。気になったことは後日確認するようにしている。 正職内において行っている。 ・常勤の間だけにとどまっている。	毎日の申し送り時に、その日の子どもの状況で「どうであったか？」や子どもへのポイント等を話し合い振り返りを行っています。また、困っている点や成功事例を話し合い、振り返りの内容を情報共有ツールで職員が共有できるようにしています。今後も申し送りで振り返りを行い、支援の統一を図って取り組んで参ります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		個の気になった所や今後の支援方法、試す等、日々スタッフ、クラスリーダーに伝えている。 ・各クラス、利用者ごとに記録を取るノートを作り、共有し改善に繋げている。	引き続き、ツールを活用し、今後の支援に繋げていけるよう記録を行って参ります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			定期的なモニタリングを保護者と行うと共にラインワークスや、担当職員からの聞き取りで利用者の状況を確認し、職員間での話し合いで見直しを行っています。引き続き確認を行いながら取り組んでまいります。	
	関係機関や保護	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			利用者のクラスのリーダーに参加してもらっています。参加が難しい際は、リーダーから利用者の状況等を貰い会議での情報提供を行っています。引き続き、連携を図りながら取り組んでまいります。
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14			保育所等訪問支援や、計画相談支援、委託相談事業を介して連携を図っています。今後も連携を図って取り組んでまいります。
		26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			保育所等訪問支援員を介して情報共有と、園との日数調整を行っています。今以上に連携を密にし、連携環境を作り、支援の統一を図っていきたく思います。
		27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			支援級、特別支援学校への就学の際に必要なに応じて情報共有シートを作成し保護者を介して行っています。引き続き情報提供を行って参ります。
		28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	12	1		市の社会福祉協議会が主催する研修や、交流会に積極的に参加し、情報交換を行っています。 また、センター主催での外部講師による研修を定期的に行っています。今後も引き続き連携を図り、地域全体の質の向上に努めて参ります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12		・外部研修は正職のみ行われている様子。	2か月毎に事業所内にて外部の作業療法士に子どもを見てもらい、事例検討会を行っています。内部研修の取り組みを検討しており、更なる質の向上に取り組んで参ります。	

者との連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10			法人代表者が積極的に参加しています。引き続き、参加が必要な時には、法人の代表者若しくは管理者が参加して参ります	
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・園に通っている子どもが大半でそちらで交流の機会は得ている。未就園児についても就園に向けてすすめていくので交流の機会はあると考えている。 ・利用者のほとんどが保育所や幼稚園を併用している為、必要ないと思う。		園や地域の中での交流は実施がありません。今後園や地域での交流を検討して参ります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		・面談をする機会が平等にある。困りごとがある際はどんなことも相談にのる体制をつくっている。面談にて発達状況は適切に伝えている。 ・朝の受け入れ時やお迎え、帳面を通して共通理解を持っている。		今後も保護者様との情報共有を丁寧に行い共通理解に努めて参ります。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	・面談時、家族支援につながる情報提供ができるようペアレントトレーニングの研修を受講した。他のスタッフにも共有し活かせる様にしている。		年に2回、センターの主催の研修を外部(保護者含む)向けに行っています。 また、実際の現場の様子をマジックミラーで見ていただき、対応方法のアドバイスを行っています。研修会や、情報提供の機会を増やせるよう努めて参ります。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13			契約時に説明をさせて頂いています。 また、運営規定に関しては玄関にファイルを設置し、支援プログラムはHPに掲載し常時閲覧できる環境を作っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		・面談を必ずすることで以降の確認はしている。 ・面談を行い、保護者の意見も取り入れている。 ・定期的に面談を行い、保護者の意志を確認する機会を設けている。	モニタリングと面談で保護者からのニーズの聞き取りと、現場職員からの子どもの様子の聞き取りにより作成しています。今後も意向確認を行うとともに、お子さん、保護者の意思の尊重、利益の優先の考慮をして参ります。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14				支援内容の説明を行い、同意を得ています。 変更の際も同様に対応させて頂いています。今後も丁寧な対応を心がけて参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		・必要に応じて、その都度対応している。		定期面談に加え、都度要望や必要があった際に面談の時間を設けアドバイス等対応させて頂いています。引き続き、迅速かつ丁寧に対応出来るよう努めて参ります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8	・就労している保護者の方が殆どの中で保護者会を開催する事は難しいと感じているが、これからの課題だと思っている。		現在父母、兄弟同士の交流する機会を設けることは実施していません。今後親子参加のイベント等交流の機会を企画立案し、実施できるようにして参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14				事案が起きた際には担当から常勤・管理者へ迅速に報告を行い、内容を確認し対応をしています。 何かあればすぐ上司、苦情管理責任者に相談し対応するようにしています。今後も迅速かつ適切に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		・毎月、通信を発行したり、保護者に直接伝える等している。		毎月おたよりを作成し活動内容の報告を記載し、HP上にて掲示しています。 毎月の活動内容や行事予定は、前月に配信するHUGにて掲載しています。今後も毎月お便りの配信をして参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14				個人情報の書類は鍵付きの書庫に保管しています。また、閲覧用の書類に関して外部への持ち出しなどを禁止し取扱いに注意しています。 面談室を設け、話し声が聞こえないように配慮しています。引き続き、十分に留意して参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		・保護者との意志の疎通は祖父母を通して行ったり、外国にルーツのある方は通訳を介して行ったり丁寧に行っている。		特性に合わせたツールを利用し、意思疎通や情報伝達を行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	6			様々な機関のや事業所の見学の受け入れを行っています。今後地域住民を招待するイベントを考えて参ります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	・毎月行っている。 ・定期的に避難訓練をしている。	各マニュアルのファイルを作成しいつでも閲覧可能な環境を作っています。保護者には今後HP等への掲載により周知します。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13			業務継続計画を作成し、定期的に避難訓練等の必要な訓練を行っています。今後も継続して必要な訓練を行って参ります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14				契約時に聞き取りにて確認を行っています。確実な聞き取りを今後も心がけて参ります。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			契約時に聞き取りを行い、必要に応じて検査結果の写しを買い対応しています。確実な聞き取りを今後も心がけて参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13			安全計画、安全確認チェック表を作成し、安全管理をしながら支援を行っています。研修は現在計画を進めており、定期的な研修を行っています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			安全計画をHPへ掲載し、取り組み内容を周知していきます。安全を第一に考え、研修や訓練を実施するなど、安全管理を徹底して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		ヒヤリハットの記入、職員の確認などをセンター全体で共有し防止に努めている。 ・ヒヤリハット報告書を各々で確認し、再発防止対策を取っている。 業務中に置いての確認が難しい為、休憩中の確認可能な状況。	気になった時やヒヤリとした時等に書類を作成し、申し送り時に情報共有と話し合いを行い再発防止に取り組んでいます。今後も情報共有と、再発防止に努めて参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13			入社時のオリエンテーションにて職員に研修を行っています。研修の機会を確保し、日々の支援の振り返りを行い、虐待防止に努めて参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11			身体拘束委員会の設置と定期的な会議にて決定しています。保護者には契約時に説明を行っています。今後も確実な説明と、必要に応じて支援計画への記載を行って参ります。